

令和
3年度

小牧市 施政方針と予算

市政運営に対する基本的な考えや
主要な施策についてお知らせします



小牧市長
山下 史守朗

問合先 秘書政策課 ☎ 76 - 1105 財政課 ☎ 76 - 1190

市長施政方針

はじめに

令和3年小牧市議会第1回定例会の開会にあたり、市政運営に係る私の所信を申し述べますとともに、令和3年度当初予算案につきまして、主要な施策とその概要をご説明申し上げます、議員各位、並びに15万余市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたしますと存じます。

新型コロナウイルス感染症対策

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、新型コロナウイルスに感染された方々、ご家族ならびに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、感染症の拡大防止や支援のため日々業務に従事されている医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様に改めて深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨年は、小牧市市制施行65周年を迎え節目の年でありましたが、予期せぬ「新型コロナウイルス感染症」の流行により、4月には新型コロナウイルスエンザ等特別措置法に基づく初めての「緊急事態宣言」が発出されました。学校が全国一斉に休校となるなど、「当たり前の日常」が奪われ、社会経済活動の多くが停止し、企業の活動や雇用、人々の生活に大きな影響を与えました。

また、自粛生活を余儀なくされる中、本市においても、誠に残念でありましたが、産業フェスタや令和夏まつり、市民駅伝など、これまで育んできた大規模な交流イベントやスポーツ行事をはじめ、地域の様々な事業や催しが軒並み中止となりました。

そうした中、小牧市では、市民生活の安定を図るため、市議会からの緊急要望を踏まえて、「水道料金基本料金の6カ月間免除」、「18歳までの子どもへ1人あたり5千円分の図書カードの配布」、「75歳以上の高齢者へ1人あたり1万円の感染症対策協力金の支給」等、本市独自の様々な取組を行ってまいりました。

また、市内で事業を営む事業者の皆様には、セーフティネット保証融資関係をはじめ、緊急事態措置期間中に愛知県の要請等によって休業や営業時間短縮に協力した事業者への

「新型コロナウイルス感染症対策協力金」や、飲食店において、新たにテイクアウトサービスを開始する場合や店内の換気機能強化等来店者の感染防止措置等に要する経費の一部を補助する「飲食店新型コロナウイルス感染症対策補助金」の交付など、地元中小事業者の事業継続のための様々な支援を行ってまいりました。

更には、「こまき応援キャッシュレス決済ポイント還元」、「こまき応援食事券」、「こまきプレミアム商品券」という3段階口ケットの経済対策を矢継ぎ早に実施し、地域経済の下支えを図ってまいりました。

しかしながら、昨年の11月頃から感染症の第三波により再び感染が急激に拡大し、愛知県においても新規



感染者数や入院患者数などが激増したことにより、1月13日には2度目となる「緊急事態宣言」が発出され、現在も継続している状況であります。

以上のように、昨年は、小牧市においても新型コロナウイルス感染症の多大な影響を受け、学校の一斉休校や各種事業の中止をはじめ未曾有の事態に直面する中で、感染症対策に追われ、市民の安全確保と市民生活の安定、地域経済の下支えに全力を傾けた一年となりました。

本年においても、今まで一つひとつ紡いでまいりました地域のつながり、本市ならではの文化やコミュニティなど、そうした大切なものをこの災禍の中で失うことのないよう、ウィズコロナ、アフターコロナをしっかりと見据え、市民の命を守る感染症対策に全力を注ぐとともに、市民生活を支える社会経済活動との両立を図ることができるようバランスよく進めていくことが、引き続き優

先事項となってまいります。

また、新型コロナウイルスに感染された方やそのご家族、医療関係者等への差別や偏見等が生じることのないよう、昨年第4回定例会におきまして、「小牧市新型コロナウイルス感染症関係者の人権擁護に関する条例」を制定し、12月には小牧青年会議所と「コロナ差別ゼロ共同宣言」を行いましたので、引き続き市民の皆様への周知および啓発に努めてまいります。

そして、現在のような厳しい状況を改善することが期待されますワクチン接種につきましては、去る1月18日には、県内でいち早くワクチン接種を実施できるよう「新型コロナウイルスワクチン接種推進室を新設いたしましたので、推進室を中心に全庁的な職員の協力体制のもと、市民の皆様に遅滞なくワクチンを接種できるよう鋭意準備を進めてまいります。ワクチン接種の実施には、医療従事者の協力が不可欠でありますので、小牧市医師会のご協力もいただきながら、一刻も早く新型コロナウイルス感染症を克服し、市民の皆様が日常の生活を取り戻せるよう全力で取り組んでまいります。

(掲載内容は、2月24日時点のものとなります)

市政運営方針

さて、私は、これまで「改革と創造の市政」「チャレンジする市政」を掲げ、将来を見据えた様々な改革と小牧市の明るい未来につながる新たなチャレンジに全力を注ぎ、信念とスピード感を持って市政を運営してまいりました。

そして、小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するため、小牧市自治基本条例に基づいて策定した初めての計画である「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」において、これまでの取組を継承した3つの都市ヴィジョン「こども夢・チャレンジNo.1都市」「健康・支え合い循環都市」「魅力・活力創造都市」をまちづくりの機軸として掲げていますが、それらに加えて、誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すSDGsや、多様性を生かすダイバーシティの考えにも十分に意を配しながら、多様な市民と行政の協働により、小



▲市議会第1回定例会（2月24日）において、山下市長が施政方針演説を行いました。

施政方針は、
市公式 YouTube で
ご覧いただけます。



YouTube

0:00	〈はじめに〉
0:30	〈新型コロナウイルス感染症〉
6:05	〈市政運営方針〉
10:23	〈予算編成方針〉
13:16	〈市政戦略編〉
28:56	〈安全・環境〉
33:10	〈健康・福祉〉
35:44	〈教育・子育て〉
39:18	〈文化・スポーツ〉
40:55	〈産業・交流〉
42:18	〈都市基盤・交通〉
45:40	〈自治体経営編〉
49:03	〈新型コロナウイルス感染症対策〉
52:17	〈令和3年度予算規模〉
54:37	〈結びに〉

に、スポーツ等を通じて市民の健康づくりを支援し、さまざまな学びを通じて市民がより豊かな自分らしい人生を送ることができるようになるとともに、市民活動や地域自治の充実拡大を通じて、地域での支え合い助け合い活動を推進することにより、高齢者をはじめすべての市民が安心して暮らし続けることができるまちを目指してまいります。

牧市の強みを活かしたまちづくりを一層加速させてまいる所存であります。

都市ヴィジョン1の「こども夢・チャレンジNo.1都市」が目指



す、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援していくことで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながるまちをつくっていくことは、すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまちづくりへとつながります。

そして、都市ヴィジョン2の「健康・支え合い循環都市」は、幸せな高齢社会を実現するため

更に、都市ヴィジョン3「魅力・活力創造都市」の若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりは、地域を活性化し、子や孫の世代へ持続可能なまちづくりへとつながります。

地域経済を支援し、バランスの良い産業集積を持続的に高めることで、将来にわたって輝き続けるまちを目指してまいります。

POINT

「小牧市まちづくり推進計画」
まちづくりの機軸として掲げる
3つの都市ヴィジョン

都市ヴィジョン1

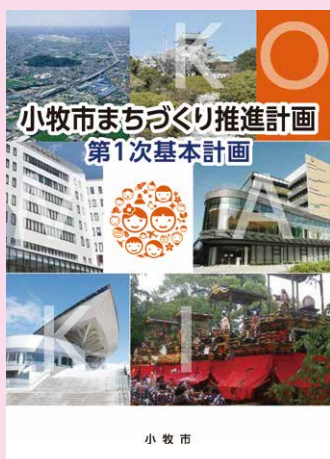
「こども夢・チャレンジ No.1 都市」

都市ヴィジョン2

「健康・支え合い循環都市」

都市ヴィジョン3

「魅力・活力創造都市」



小牧市民憲章に掲げる理想
のまちを実現するための市の
最上位計画です。



◀計画はこちらからご覧ください。

あわせて、「第2期小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をもとに、本市の少子高齢化と人口減少問題に対して、より一層の地方創生の充実・強化を図るほか、全庁的に様々な取組を通じて持続可能な開発目標であります「SDGs」に貢献してまいります。



命を守るための感染拡大防止対策に万全を期すとともに、社会経済活動との両立を図り、市民の暮らしを守るために、全力を尽くしてまいります。

そして、小牧市の将来を見据え、

世代間や地域間のバランスを図りながら、子どもが夢を育み、高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる小牧市、そして、若い世代や子育て世代が住みたいと、子や孫も住み続けたいと思う、魅力と活力あふれる夢ある小牧市



を創造するため、議員各位、並びに市民の皆様と力を合わせて、小牧市の明るい未来につながる更なるチャレンジと、15万余市民の幸せのための市政運営に、決意と信念を持って、引き続き全力で取り組んでまいります。



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

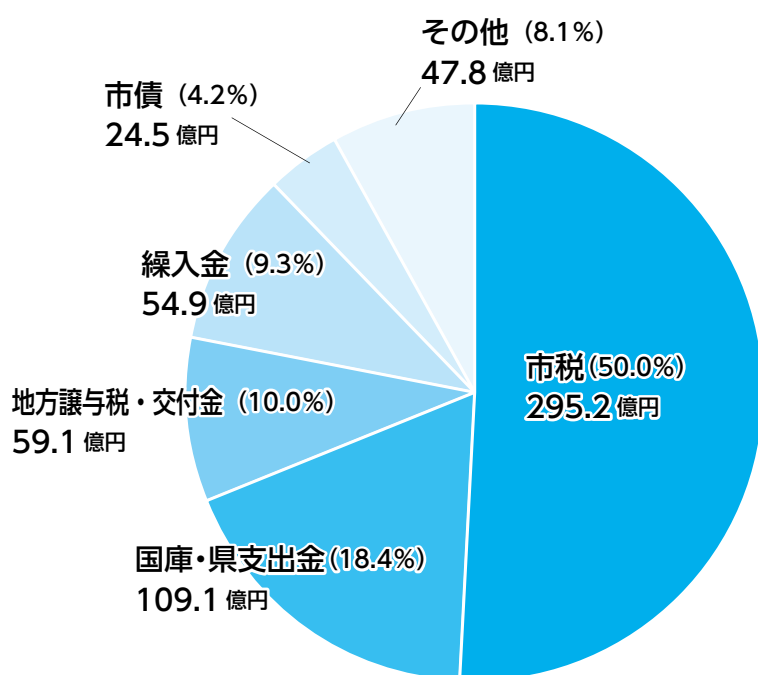
予算編成方針



新型コロナウイルス感染症への対策を含む重点施策に対し積極的に予算配分

本市の財政状況であります、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費や、公共施設の建替えや改修に要する費用など年々増加する経費の状況に加え、法人市民税の一部国税化や、幼児教育・保育の無償化、会計年度任用職員制度の導入、GIGAスクール構想など相次ぐ国の制度改正や政策が、普通交付税の不交付団体である本市の財政を急激に圧迫している中で、市税の減収を見込んだ令和2年度予算編成に引き続き、新型コロナウイルス感染症による経済状況悪化の影響により、令和3年度は更なる大幅な減収が見込まれることから、今後の財政運営は、より一段と厳しさを増していくものと危惧しています。

一般会計の歳入



令和3年度
小牧市の

予算



一般会計

590億6,300万円 (前年度比 4.1%減)

特別会計 262億6,889万円 (前年度比 1.6%増)

企業会計 386億5,410万円 (前年度比 2.2%増)

全会計合計 1,239億8,599万円 (前年度比 1.0%減)

令和3年度の予算規模といたしましては、一般会計は対前年度当初比4.1パーセント減の590億6,300万円、一般会計、特別会計および企業会計を合わせた全会計の総額は、対前年度当初比1.0パーセント減の1,239億8,599万4千円となりました。

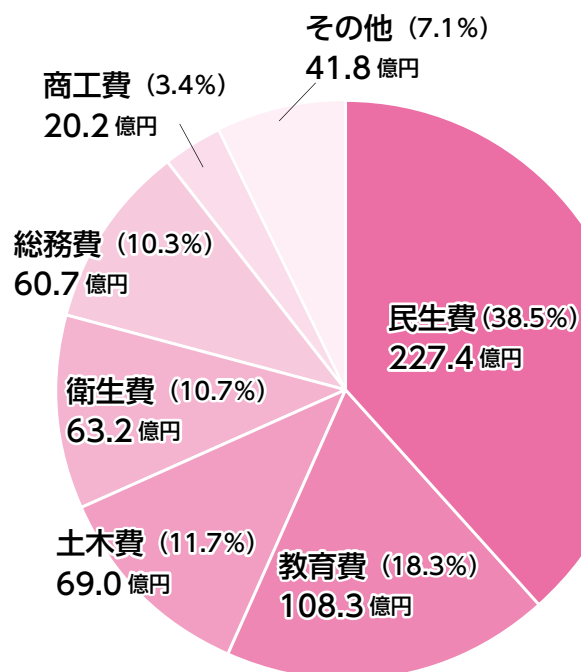
このような状況の中で、新しい生活様式に適応した安全・安心・快適な市民生活を最優先としつつ、健全財政の維持に十分留意し、より一層の行財政改革を進める必要があります。

そこで、令和3年度の予算編成にあたっては、これまで以上に施策全般にわたり各事業の緊急度・重要度を見極め、事務事業の見直しと経費の節減合理化を行い、財源を捻出することで、新型コロナウイルス感染症への対策を含む重要施策に対して重点的に予算を配分いたしました。

また、コロナによる危機に直面し、社会全体が大きく変わろうとしている今だからこそ、未来への積極的な投資も必要であります。

「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」を推進し、行財政改革の取組などを更に力強く進めるよう努めるとともに、議員各位や市民の皆様からいただいたご意見、ご要望を十分に検討した上で可能な限り市政に反映し、皆様のご期待に十分応え得るよう編成したところであります。

一般会計の歳出



一般会計・特別会計・企業会計の状況

会計名	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	増減率 (%)
一般会計	590.6 億円	615.8 億円	△ 4.1
特別会計			
土地取得	2.0 億円	68 万円	29,812.9
国民健康保険事業	126.6 億円	128.6 億円	△ 1.5
文津土地区画整理事業	3.6 億円	4.8 億円	△ 24.4
岩崎山前土地区画整理事業	3.2 億円	1.7 億円	90.2
小牧南土地区画整理事業	4.2 億円	4.8 億円	△ 12.0
本庄土地区画整理事業	1.0 億円	—	皆増
小松寺土地区画整理事業	—	0.1 億円	皆減
介護保険事業	85.1 億円	81.8 億円	3.9
後期高齢者医療	37.0 億円	36.7 億円	0.8
計	262.7 億円	258.5 億円	1.6
企業会計			
病院事業	286.7 億円	284.1 億円	0.9
水道事業	50.5 億円	45.5 億円	11.1
下水道事業	49.3 億円	48.7 億円	1.2
計	386.5 億円	378.3 億円	2.2

※予算額を端数処理しているため、増減率は一致しない場合があります。

歳入では、法人市民税の一部国税化や新型コロナウイルス感染症による経済状況の悪化の影響から、市税収入は、減収を見込んだ令和2年度より更に24億円を超える大幅な減収になると見込んでおります。

一方、歳出では、冒頭に申し上げたように、社会保障関連経費などの増加に加え、相次ぐ国の制度改正や政策が普通交付税の不交付団体である本市の財政を急激に圧迫している中で、市税収入の更なる大幅な減収が見込まれることから、これまでにない非常に厳しい予算編成となりました。

そのような状況下ではありますが、コロナ禍での「新しい生活様式」にも対応するとともに、健全財政の維持と各分野間のバランスに十分に留意しながら、最優先である市民の安全・安心をはじめ、教育や福祉などの重要施策については、これまでの取組を決して後退させることなく、着実に前に進められるよう積極的かつ優先的に予算化するよう努めたところであります。

市民の皆様とともにコロナ禍を乗り越え、明るい日常を取り戻し、市民の皆様が小牧に住んでいて良かった、これからも住み続けたいと、そういう気持ちを抱いて暮らしていただけるよう、3つの都市ヴィジョン「こども夢・チャレンジNo.1都市」、「健康・支え合い循環都市」、「魅力・活力創造都市」の実現に向けて、令和3年度も引き続き、小牧市の様々な課題の克服に向けて着実な歩みを刻む一年としてまいりたいと存じます。



主な事業一覧

都市ビジョン1

「こども夢・チャレンジ No.1 都市」

こどもの夢への挑戦をまち全体で応援していくことで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、あたたかく支え合い、暮らしやすい魅力あふれるまちをつくっていくことをイメージした都市概念です。

夢にチャレンジ助成金支給事業 **充実**

- ・25歳以下の学生等がチャレンジしたい内容をプレゼンし、優秀者に助成金を支給（上限30万円）

新 中学生が自身の夢を発表する場を設け、優秀者に表彰記念品を贈呈

小・中学校トイレ洋式化事業 **充実**

繰越事業

令和3年度中に小学校1校、中学校1校のトイレ洋式化工事



小学校特別教室空調機設置事業 **充実**

繰越事業

令和3年度中に小学校7校の特別教室の空調機設置工事



児童クラブ開設時間延長等事業 **充実**

平日の開設時間を30分延長等（午後6時30分まで▶午後7時まで）



児童クラブ環境整備事業 **新規**

小牧南小学校の全面改築に合わせて、小牧南児童クラブを改築など



子育て世代包括支援センター運営事業 **充実**

- ・妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業、母子保健型利用者支援事業、妊娠・出産包括支援事業、産前産後ヘルパー派遣事業、一時預かり事業、こども家庭総合支援拠点事業

充 多胎妊婦健康診査5回分を追加交付



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

小牧南小学校改築事業

令和4年の早い時期の校舎完成に向けて改築工事等



令和3年度予算

新規・充実等の

都市ビジョン2

「健康・支え合い循環都市」

幸せな高齢社会を実現するために、市民の健康づくりを支援し、支え合いの地域づくりに力を注ぎ、「健康」と「支え合い」の地域内循環を目指す小牧市独自の取組みをイメージした都市概念です。

市民交流テラス 「ワクティブこまき」 運営事業

充実

- ・市民活動、ボランティア活動、地域活動、生涯学習等の活動の連携を促すハブの拠点として運営

新 支え合いいきいきポイント
受付窓口の開設



フレイル予防推進事業

新規

介護予防教室の開催、フレイルチェック体制の整備、フレイル重症化予防の個別相談などフレイル予防を一体的に推進



個別歯科健診事業

充実

- ・いきいき世代個別歯科健診の対象者を拡大
(40歳から75歳までの5歳刻み ▶ 40歳から80歳までの5歳刻み)
- ・歯周病予防個別健診の対象者を拡大
(35歳 ▶ 20歳から35歳までの5歳刻み)



日常生活用具給付事業

充実

難病等の方が使用する人工呼吸器などの在宅医療機器のバッテリー等の購入費用の一部を助成

(対象品目により5万円または10万円を上限に購入費用の95%を助成)



(仮称) 第3老人福祉センター 施設建設事業

- ・今後も増加する高齢者の健康増進や教養向上を図るため、久保一色地内に市内3番目となる老人福祉センターを建設
- ・令和3年度は主に用地の購入および建設工事を進め令和5年中に完成予定



地域協議会設立 推進・活動支援事業

- ・講演会や勉強会の開催などによる設立の推進、地域助け合い交付金、市職員の地域パートナー制度などによる活動支援
- ・全16小学校区のうち13小学校区で設立済み



都市ヴィジョン3

「魅力・活力創造都市」

若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力ある都市と経済・雇用・財政の基盤が確立された活力ある都市の創造をイメージした都市概念です。

こまきこども未来館 運営事業

充実

- ・こども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供
- ・デジタルコンテンツ等保守管理委託、こまき巡回バス運賃負担など



中央図書館運営事業

充実

- ・利用者ニーズや時代の要請に対応した居心地の良い滞在型図書館を運営
- ・開館時間の拡大、Wi-Fi環境やICT機器の導入、電子書籍の貸出など



にぎわい広場 運営事業

新規

- ・小牧駅前の歩専1号線に「にぎわい広場」を設置
- ・季節ごとの装飾、利用方法の案内やイベント告知のホームページ作成など



小牧駅周辺整備事業

駅西駅前広場
南側に芝生広
場（駅西公園）
の整備など



中心市街地グランド デザイン策定事業

- ・中心市街地グランドデザイン策定委員会の開催
- ・ワークショップの開催、パブリックコメントの実施

東部振興構想等 策定事業

- ・東部振興構想の策定、東部まちづくり審議会の開催
- ・ワークショップの開催、パブリックコメントの実施



こまきプレミアム商品券 発行助成事業

- ・商工会議所が実施するこまきプレミアム商品券発行事業に補助
- ・プレミアム率20%、発行総額9億6,000万円を実施



施政方針の おわりに

我が国の本格的な少子高齢化・人口減少社会の到来、日進月歩に進展するデジタル技術革新、更には世界的なコロナ禍による先行き不透明な社会情勢という予測不能な激動の時代を迎えている今日、まさに、あらゆる分野、様々なレベルにおいて、未来に向けた新しいチャレンジが求められています。

今を生きる私たちの責務は、弛まぬ挑戦と努力によって今日の豊かな小牧市を築いてこられた先人たちに恥じることはないよう、小牧市を守り抜き、更に住みよく誇れ

行政改革、市民サービスの向上、 新型コロナウイルス対策

小・中学校 新型コロナウイルス対策 物品購入事業 **充実**

繰越事業

- ・小中学校にアルコール消毒液、CO₂濃度測定器などを配備
- ・全児童生徒に携帯用の手指消毒ボトルを配付



納税推進事業

充実

- ・電話や文書等による催告、口座振替の推進など
- 充** 「Pay Pay（ペイペイ）」
「LINE Pay（ラインペイ）」
を使った市税等の納付を開始



課題提案型実証事業

新規

- ・民間事業者等のICT技術を活用し、地域課題や行政課題を解決できるか検証
- 令和3年度は、課題の洗い出しを行いテーマの絞り込みを行う

新型コロナウイルス対策 非対面型販路開拓支援 補助事業 **新規**

- ・市内の中小企業事業者のECサイト導入などに係る経費の一部を補助
(対象経費の1/2、または1/3を補助
※限度額あり)



保育園・幼稚園等に **充実** おける感染防止対策事業

- ・飛沫防止用のアクリルパーテーション、アルコール手指消毒液などを購入
- ・私立保育園等には、感染症対策に要する費用の一部を補助（1施設あたり50万円以内）

新型コロナウイルス 対策生活支援事業

- ・新型コロナウイルスに感染などにより自宅療養を余儀なくされた方に食料、日用品などを供給



ウェブ会議・テレワーク 環境整備事業 **新規**

- ・市役所会議室のWi-Fi環境整備
- ・ウェブ会議・テレワーク用のモバイルWi-Fi等の導入



るまちに発展させ、次世代に引き継ぐことであります。

私は、郷土を築いた先人たちの「チャレンジ精神」を引き継ぎ、市民の皆様とともに、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある安心社会を築き、「こどもをはじめ、障がい者、高齢者といった社会的に弱い立場の方々を含む、すべての市民の皆様が笑顔で将来に夢を描き、挑戦できる小牧市」、「住みたい、住み続けたい、将来にわたって輝き続ける、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」の創造に向けて、引き続き、全力を傾注してまいります。

議員各位、並びに15万余市民の皆様のご理解とご協力を重ねて衷心よりお願い申し上げます。